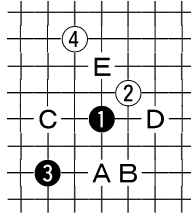


# 彗星ガイド (2)

九段 河村典彦

さて、今回からいよいよ彗星らしい攻防を調べていこう。

第8図

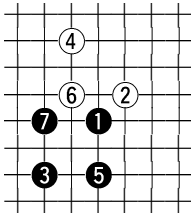


【第8図】白4は他の珠型ではまず見られない、離れた防ぎ。この時の題数は、四題もしくは五題が適当だろう。黒5でAは黒必勝、B、Dはやや黒有利、Eが混戦という感じだ。最後のEを打つか外すかが四題と五題の境目だ。その他の候補はほぼ白勝ちになると思われるが、今後研究が進めばまた題数も変わ

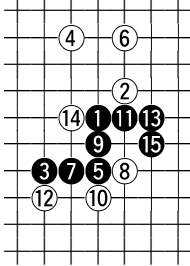
ってくると思われる。

【第9図】【第10図】黒5が必勝という理由を調べていこう。白6は2、4とのつながりから9図や10図の白6と打つのが多いのだが、いずれも簡単な黒勝ちになってしまう。それが大きな理由である。特に、第9図の黒7までの形はわかりやすいので覚えておきたい。これで白は手も足も出ない。第10図も黒7から簡単な追い勝ちになるので、黒は怖い所がない。

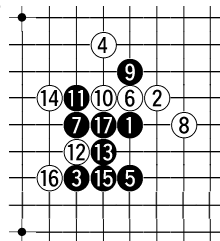
第9図



第10図



第11図



【第11図】白6の変化。前図以外ではこの白6が防ぎとして考えられる。ただ、ここでも黒7と組んでしま

うのが妙手。白は中に防ぎに行くのはもうできないので、白8、10と外から防ぐぐらいである。

これに対しては、黒は11と先手を取り、黒13から引き出せば以下問題なく勝てる。これ以外の白の防ぎも問題ないだろう。

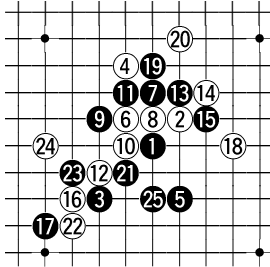
【第12図】さて、いよいよ本題に入ることしよう。この黒5は1からすると嵐月の位置だが、やはり桂馬の場所はいい所が多い。また、黒3の位置を見ると、名月の定石

にも出てくる位置関係になっている。こういう観点からも、昔の知識が役に立つ場合が多い。

黒5には白6がやはり強防となる。黒7で一旦中に入って防ぎに行くのが肝心となる。ここに一着入れておかないと、白の模様を消せない。白も10で11に引けないので、白10、12と防ぎに来ざるを得ない。こうやって、お互いの模様に入っていくのが典型的な彗星の戦い方となる。

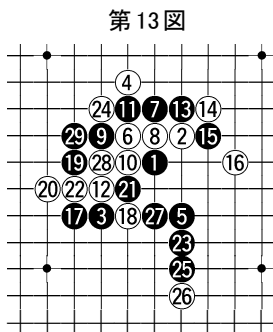
黒13も大事な所で、うっかり16から止めると白有利となる。13の地点も双方の急所なので、ここを先手で打てるのが大きい。黒15と一旦落ち着き、黒21と下辺に勢力を集めてようやく黒が有利となる。

第12図



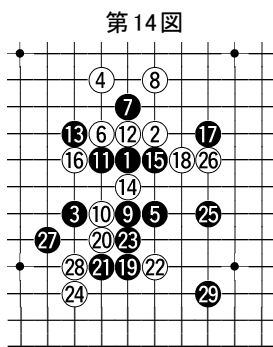
なお、白18が19なら、18と突き出してあげばよい。

【第13図】白16の変化。白16を伸びなければ、当然黒はそこに押さえる。白18と防がれた時にどうするかだが、黒19と叩く手が成立する。一見黒三々禁で負けそうだが、黒には四ノビがあるので受かっている。白22と分断されると困るが、ここで思い切つて黒23と下辺に呼手を打つのが狙いの一手で、黒が主導権を取れる。この手は左斜め上との連携も狙っている。白28で



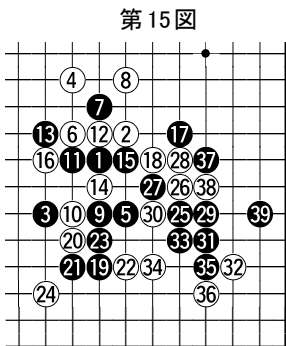
含みになるが、黒29と落ちて止めておけば良い。

【第14図】白8の変化。白8とさらに上からかぶせてくる手も考えられる。これに対しては、黒9と一本三を利かせてから、黒11とミセ手を打つておく。白は12とノリ手で防ぐだろうから、黒13、15とさらに先手を取る。続けて下辺で攻めたいが、ここは一旦黒17と我慢する。白18なら、黒19から下辺で攻める。白20からの防ぎも必然で、白はやむを得ない。さらに黒は25から攻めるのだが、黒27と味付けをするのが全局を見た良い手。これは黒29を含み手にしている。こうやって黒29



と打てば、あとはほとんど勝てるだろう。

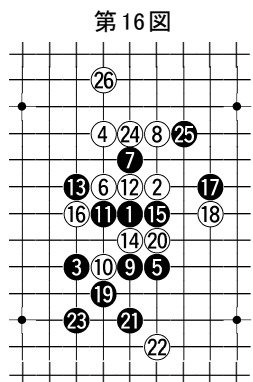
【第15図】白26の変化。白26の方が剣先ができるので強そうに見えるが、今度は黒27を利かされてしまう。白26でできた剣先も、黒29で消されてしまうのが痛い。黒33まで組んで、あとは盤端までまだ距離があるので何とか勝てる。



ておく。

例えば白34なら、黒35引いて、以下黒勝ちとなる。白36を反対もただちに四迫いなので問題ない。なお、白8を14なら黒13と叩いておく。

【第16図】白18の変化。一路違うだけなので同じと思いきや、実は違う。下辺を黒19から攻め、黒23まで呼手を打つと、思わぬ白の反撃がある。白24と引いてから白26と打てば、これが白18の石を利用した四迫い含みになっている。この手を打たれては、黒はぎやふんとなってしまう。正しくは、黒は20とトビ三を打つて以下下辺で勝てる。これは図に示さないの



ぜひ研究して勝ちを見つけしてほしい。

白4の防ぎの研究はまだ始まったばかりなので、難しくがらずに興味のある形から並べてほしい。まずは黒5で打てないところを覚えることが大切で、そのためには正しい攻防を身につける必要がある。